

付属資料：調査票

令和元年度 県民意識調査

令和元年 5 月

調 査 票

【調査の目的】

◇この調査は、秋田県が実施する調査で、県の取組に関する皆様の満足度やご意見等をお伺いし、各種政策の立案や政策評価等に反映させることを目的としています。

【調査票の取扱い】

◇調査結果は、全て統計的に処理しますので、回答内容が個人情報と結びついた形で公表されることはありません。

【記入に当たってのお願い】

◇この調査には、宛名のご本人がお答えください。

※ご本人が何らかの事情により回答できない場合、代理の方の回答は不要です。

◇ボールペンや鉛筆等で記入してください。

◇回答を1つだけ選んでいただく質問と、複数選んでいただく質問があります。

この調査票を三つ折りにし、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、

6月7日（金）までに投函してください。

なお、返信用封筒に住所、氏名等の記入は不要です。



©2015 秋田県んだッチ

◆左下のQRコード又は「秋田県 電子申請・届出サービス」

(https://s-kantan.jp/pref-akita-u/offer/offerList_initDisplay.action) から、パソコン、スマートフォン、タブレット等を利用したインターネット回答が可能です。

※インターネット回答の場合は、調査票の返送は不要です。



【問い合わせ先】

◇この調査に関する質問等は、以下までお問い合わせください。

〒010-8570 秋田市山王四丁目1番1号

秋田県企画振興部 総合政策課 計画・評価班

電 話：018（860）1217（直通）

FAX：018（860）3873

メール：seisaku@pref.akita.lg.jp

問1 県では、『第3期ふるさと秋田元気創造プラン』*に基づき、「時代の変化を捉え力強く未来を切り拓く秋田」を創り上げていくことを目指し、様々な取組を進めていますが、次の項目について、あなたはどの程度満足していますか。ご自身の実感に近いものを選んでお答えください。

また、お答えが「1」又は「2」の場合は、よろしければその理由や、県が取り組むべきだと思うことについて、お聞かせください。

*『第3期ふるさと秋田元気創造プラン』とは、平成30年度からの4年間に、県が取り組むべき政策等を取りまとめた県政運営の指針です。

項目	あなたの満足度 (1つ選び番号に○をしてください)					
	十分	お お む ね 十分	ふ つ う	や や 不 十分	不 十分	わ か ら な い
1 若者にとって魅力的な働く場が確保されている。	5	4	3	2	1	N
	[自由記述]「不十分」又は「やや不十分」に○をつけた方は、よろしければその理由や、県がもっと力を入れて取り組むべきだと思うことについて、具体的にお聞かせください					
2 高校生や大学生の県内就職が進んでいる。	5	4	3	2	1	N
	[自由記述]					
3 安心して子育てができる社会になっている。	5	4	3	2	1	N
	[自由記述]					
4 女性や若者が職場や地域で生き生きと活躍できる社会になっている。	5	4	3	2	1	N
	[自由記述]					
5 地域交通や買い物サービスなどの日常生活に必要な機能が維持され、安心して生き生きと生活できる地域社会になっている。	5	4	3	2	1	N
	[自由記述]					

若者の定着や地域の活力維持に関する取組の状況

1 社会減の抑制に向けた

雇用の場の創出、人材育成・確保

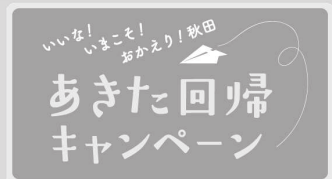
- ・将来にわたり拡大が見込まれる成長分野（航空機・自動車・新エネルギー関連・医療福祉関連・情報関連）への県内企業の参入促進と競争力強化、県内企業の海外展開を支援
- ・モノのインターネット化（IoT）や人工知能（AI）等に代表される「第4次産業革命」の進展により広範な産業分野において求められるICT人材を確保・育成
- ・女性の復職や個人のキャリアアップ等を支援

◎雇用創出数（企業誘致や成長産業の振興、農林水産業や観光産業による新規雇用創出）
2,552人（H28）⇒2,209人（H29）

2 若者の県内定着・回帰と移住の促進による

秋田への人の流れづくり

- ・高校生や大学生が県内企業の魅力に触れる機会として、企業見学会・企業説明会等を開催
- ・大学生と保護者の県内就職への意識醸成に向けた情報発信の強化のほか、若者のふるさと回帰を呼びかける「あきた回帰キャンペーン」を実施
- ・移住相談や移住フェア等を通じて秋田暮らしの魅力を発信
- ・Aターン就職を支援するため、東京都や秋田市等でAターンフェアを開催



秋田回帰キャンペーンロゴ

◎人口の社会減

△4,100人（H27）⇒△4,410人（H29）

3 結婚や出産、子育ての希望をかなえる全国トップレベルのサポート

- ・あきた結婚支援センターの運営支援を通じて結婚を希望する独身男女をサポート
- ・保育料助成の更なる拡充等、子育て世帯への経済的支援を充実
- ・地域の実情やニーズに応じ子どもや子育て家庭への支援を行う取組に対して助成



園庭で楽しく遊ぶ園児たち

◎婚姻件数

3,510組（H28）⇒3,311組（H29）

◎出生数

5,666人（H28）⇒5,396人（H29）

4 女性や若者の活躍推進と

ワーク・ライフ・バランスの実現

- ・経済団体等と連携した普及啓発や企業表彰の実施等により、女性活躍やワーク・ライフ・バランスの取組への気運を醸成
- ・「あきた女性活躍・両立支援センター」を設置し、企業訪問やアドバイザーの派遣等により企業の取組を支援

◎女性の活躍に関する行動計画を策定した企業数

64社（H28）⇒130社（H29）

◎従業員の仕事と子育てに関する行動計画を

策定した企業数

262社（H28）⇒287社（H29）

5 活力にあふれ、安心して暮らすことが

できる地域社会づくり

- ・県と市町村が協働し、人口減少等の進行により生ずる生活課題の解決に向けた住民主体の支え合いの仕組みづくりを推進
- ・集落間交流や担い手育成、地域資源を活用した商品開発等により集落活動を支援



あきた元気ムラ大交流会

◎社会活動・地域活動に参加した人の割合

42.0%（H28）⇒46.6%（H29）

項目

あなたの満足度 (1つ選び番号に○をしてください)					
十分	おおむね十分	ふつう	やや不十分	不十分	わからない

6 地域経済を ^{けん} 牽引することができる競争力を持った企業が増えている。
--

7 中小企業の安定した経営が確保されている。

8 企業誘致が進んでいる。

9 産業人材の確保・育成が進んでいる。

5	4	3	2	1	N
[自由記述]「不十分」又は「やや不十分」に○をつけた方は、よろしければその理由や、県がもっと力を入れて取り組むべきだと思うことについて、具体的にお聞かせください					
5	4	3	2	1	N
[自由記述]					
5	4	3	2	1	N
[自由記述]					
5	4	3	2	1	N
[自由記述]					

産業の振興に関する取組の状況

1 成長分野の競争力強化と

中核企業の創出・育成

- ・ 航空機・自動車関連の加工技術の向上や販路開拓を支援
- ・ 再生可能エネルギーの導入拡大と関連産業への県内企業の参入を促進
- ・ 医工連携による県内企業と大手医療機器メーカーとのマッチングを支援
- ・ H30 年 3 月「秋田デジタルイノベーション推進コンソーシアム」を設立、先進技術の導入による県内産業の振興を推進



デジタルイノベーション元年
フォーラム

◎輸送用機械器具製造業の製造品出荷額

1,124 億円 (H28) ⇒ 1,568 億円 (H29)

◎医療機器関連製造業の製造品出荷額等

548 億円 (H27) ⇒ 573 億円 (H28)

2 中小企業・小規模企業者の活性化と

生産性向上

- ・ 産業デザインやマーケティングに関する助言・指導、県産業技術センターの研究員による技術支援を実施
- ・ 生産性の向上を図るため、専門アドバイザーが生産現場での改善を支援
- ・ 全国に先駆けて H26 年度から事業承継支援を実施



秋田県中小企業応援キャラクター
「がんばっけさん」

◎製造品出荷額等(従業員4人以上の事業所)

1 兆 2,153 億円 (H27) ⇒ 1 兆 3,733 億円 (H29)

◎製造品付加価値額(従業員4人以上の事業所)

4,739 億円 (H27) ⇒ 5,757 億円 (H29)

3 国内外の成長市場の取り込みと投資の促進

- ・ 企業の海外展開に向けた活動経費を支援
- ・ 世界への物流の玄関口となる港湾施設を整備
- ・ 首都圏等における積極的な誘致活動等により、直接航空機メーカー・自動車メーカーと取引を行う企業や、大手自動車関連企業のソフトウェア開発部門を誘致



海の玄関口「秋田港」

◎秋田港国際コンテナ取扱量(実入り)

50,776TEU (H28) ⇒ 50,271TEU (H30) (速報値)

※「TEU」＝貨物コンテナの量を表す単位

◎企業の誘致件数及び誘致済企業の施設・設備の

拡充件数

22 件 (H28) ⇒ 24 件 (H30)

4 産業人材の確保・育成と

働きやすい環境の整備

- ・ 働き方改革を推進するためのセミナーや専門家による集中支援を実施



働き方改革推進セミナー

- ・ 女性が働きやすい環境の整備に取り組む企業を支援
- ・ 県技術専門校において、輸送機や新エネルギー関連のカリキュラムを実施

◎成長産業等における雇用創出数

1,691 人 (H28) ⇒ 1,355 人 (H29)

◎若者や女性等の働きやすい環境の整備に取り組む企業数

330 社 (H28) ⇒ 434 社 (H29)

項目

あなたの満足度 (1つ選び番号に○をしてください)					
十分	お お む ね 十分	ふ つ う	や や 不 十分	不 十分	わ か ら ない

10 農林水産業で働く人が、地域で元気に活躍している。
11 えだまめ、ねぎ、しいたけ、キク、秋田牛などの生産が盛んに行われている。
12 あきたこまちをはじめ、全国の産地間競争に打ち勝つ米づくりが盛んに行われている。
13 飲料や発酵食品など、県産の農林水産物を生かした加工品づくりや販売が盛んに行われている。
14 秋田スギ丸太の生産量が増大し、県産材の利用が進んでいる。
15 ハタハタ、マダイ、ヒラメ、サケなど、県内で獲れた多様な魚が流通・販売されている。
16 豊かな農山漁村で生き生きとした暮らしが営まれ、農地・森林を守る活動などが行われている。

5	4	3	2	1	N
[自由記述]「不十分」又は「やや不十分」に○をつけた方は、よろしければその理由や、県がもっと力を入れて取り組むべきだと思うことについて、具体的にお聞かせください。					
5	4	3	2	1	N
[自由記述]					
5	4	3	2	1	N
[自由記述]					
5	4	3	2	1	N
[自由記述]					
5	4	3	2	1	N
[自由記述]					
5	4	3	2	1	N
[自由記述]					
5	4	3	2	1	N
[自由記述]					

農林水産業の振興に関する取組の状況

1 秋田の農林水産業を牽引する多様な人材の育成

- ・生産規模の拡大を目指す意欲的な経営体を育成

- ・県外からの移住者や新規学卒者・
Uターン者など、多様なルートと
幅広い年代から新規就業者を確
保・育成



首都圏での移住就業セミナー

◎農業法人数(認定農業者) 576 法人(H28) ⇒ 656 法人(H30)

◎担い手への農地集積率 73.2% (H28) ⇒ 74.1% (H29)

3 秋田米の戦略的な生産・販売と水田フル活用

- ・秋田米の安定生産やブランド力の向上を促進
- ・食味が特に優れた新品種の市場デビューに向けた取組を実施
- ・水田の大区画化や排水対策を図るほ場整備を実施

◎全国に占める秋田米のシェア 5.47%(※)⇒ 5.40% (H29)

※H23～27の最高値と最低値を除いた3年平均

◎米の生産費 10,500 円/60kg (H27) ⇒ 10,100 円/60kg (H29)

2 複合型生産構造への転換の加速化

- ・ねぎやキクなどの園芸メガ団地や大規模
畜産団地を整備
- ・「えだまめ出荷量日本一」や「しいたけ三
冠王(量・額・単価)」を目指して生産を拡大
※H29 は大雨災害が発生
- ・「秋田牛」「比内地鶏」のブランド力強化
に向けた取組を推進



大規模団地のねぎ収穫作業

◎主要園芸品目の系統販売額

160 億円 (H28) ⇒ 145 億円 (H29)

◎畜産産出額

352 億円 (H27) ⇒ 366 億円 (H29)

4 農林水産物の高付加価値化と

国内外への展開強化

- ・県産の農林水産物を生かした
加工品づくりや販売を促進
- ・食品メーカーなど異なる業種
との連携による新商品の開発
や新ビジネスの創出を促進



異業種交流会

◎6次産業化事業体販売額

143 億円 (H27) ⇒ 160 億円 (H28)

5 「ウッドファーストあきた」による

林業・木材産業の成長産業化

- ・伐採作業用の高性能な林業機械の導入を促進
- ・秋田市や大仙市で大規模バイオマス発電施設が稼働
- ・住宅等への県産材の利用を促進

◎素材生産量(燃料用含む)

1,470 千 m^3 (H28) ⇒ 1,484 千 m^3 (H29)

◎スギ製品出荷量

591 千 m^3 (H28) ⇒ 634 千 m^3 (H29)

6 つくり育てる漁業と広域浜プラン推進による 水産業の振興

- ・つくり育てる漁業の対象魚種(ハタハタ、マダイ、
ヒラメ、サケ、トラフグ)などの稚魚の育成・放流
- ・R元年9月開催の全国豊かな海づくり大会秋田大会
の開催に向けた準備を着実に推進

◎海面漁業協同組合員1人当たりの漁業生産額

288.0 万円 (H28) ⇒ 282.1 万円 (H29)

◎つくり育てる漁業の対象魚種の漁業生産額

9.7 億円 (H27) ⇒ 8.9 億円 (H28)

7 地域資源を生かした活気ある農山漁村づくり

- ・農山漁村での都市住民との交流活動や食ビジネス
の取組を促進
- ・草刈りや植樹など地域住民による農地、森林を守
る活動を促進

◎中山間地域資源活用プラン策定地域数(累積)

37 地域 (H28) ⇒ 49 地域 (H30)

◎水と緑の森づくり推進事業参加者数

22,324 人 (H30)

項目

あなたの満足度 (1つ選び番号に○をしてください)					
十分	おおむね十分	ふつう	やや不十分	不十分	わからない

17 国内外から観光誘客が進んでいる。
18 日本酒や発酵食品など、秋田の食品が国内外の市場で盛んに流通している。
19 国内外に秋田ならではの文化の魅力が伝えられている。
20 スポーツに関連する様々な活動が盛んに行われ、地域に活気がもたらされている。
21 地域間の交流や生活を支える県内の道路ネットワークが整備されている。
22 鉄道や航空、地域交通など利便性の高い交通ネットワークが整備されている。

5	4	3	2	1	N
[自由記述]「不十分」又は「やや不十分」に○をつけた方は、よろしければその理由や、県がもっと力を入れて取り組むべきだと思うことについて、具体的にお聞かせください。					
5	4	3	2	1	N
[自由記述]					
5	4	3	2	1	N
[自由記述]					
5	4	3	2	1	N
[自由記述]					
5	4	3	2	1	N
[自由記述]					
5	4	3	2	1	N
[自由記述]					

観光・文化・スポーツの振興に関する取組の状況

1 地域の力を結集した「総合的な誘客力」の強化

- ・見て、触れて、楽しめる、秋田ならではの体験型観光を推進
- ・宿泊施設の整備など、観光客の旅の満足度の向上に向けた受入環境の充実を支援



なまはげ体験

◎観光地点等入込客数(延べ人数)

3,159 万 6 千人 (H28) ⇒ 3,328 万 2 千人 (H29)

2 「食」がリードする秋田の活性化と誘客の推進

- ・日本酒や発酵食品等の更なる高品質化とブランド力の強化を促進
- ・発酵食など本県独自の食文化を観光コンテンツとして磨き上げ、誘客へ活用



JR 上野駅での秋田産直市

◎食料品・飲料等製造品出荷額等

1,205 億円 (H27) ⇒ 1,284 億円 (H28)

3 文化の発信力強化と

文化による地域の元気創出

- ・東京オリンピック・パラリンピックを契機とした県内の多彩な文化事業を実施し、国内外へ情報を発信
- ・青少年音楽コンクールなど若者をはじめとした多くの県民が参加しやすい環境の整備と地域における文化活動への支援を実施
- ・本県文化の中核拠点となる県・市連携文化施設の整備を推進



県・市連携文化施設(イメージ図)

◎文化事業への来場者数

44 万 9,311 人(H28)⇒48 万 8,379 人(H30)

4 「スポーツ立県あきた」の推進 とスポーツによる交流人口の拡大

- ・モーグルワールドカップ秋田たざわ湖大会や全県 25 市町村対抗駅伝大会等を開催
- ・ジュニア層の強化を競技力向上の柱に据えた一貫指導体制を確立
- ・ノーザンハピネットやブラウブリッツ、ノーザンブレッツの活動への支援を実施



モーグルワールドカップ秋田たざわ湖大会

◎成人の週1回以上のスポーツ実施率

49.5% (H28) ⇒ 48.0% (H30)

5 県土の骨格を形成する道路ネットワークの整備

- ・H30 年 3 月に日沿道「大館能代空港 IC」が供用開始となり空港と高速道路が直結
- ・H31 年 3 月現在、県内の高速道路は、計画延長 362km に対し、326.2km が供用済

◎県内高速道路の供用率

90% (H28) ⇒ 90% (H30)



日沿道「大館能代空港 IC」

6 交流の持続的拡大を支える交通ネットワークの構築

- ・台湾定期チャーター便の利用促進に向けたキャンペーン等を実施
- ・LCC など新たな国内航空路線の誘致に向けた取組を推進
- ・国や市町村と連携し、生活バス路線の運行費等を支援



国際定期チャーター便

◎秋田県と県外間の旅客輸送人員数

539 万 2 千人 (H27) ⇒ 601 万 5 千人 (H29)

項目

あなたの満足度 (1つ選び番号に○をしてください)					
十分	おおむね 十分	ふつう	やや 不十分	不十分	わからない

23 食事やたばこなど、これまでの生活習慣を見直し、健康づくりに取り組む県民の意識が高まってきている。
24 誰も自殺に追い込まれることのないよう、悩みを抱えた方が相談しやすい環境が整っている。
25 どこに住んでいても、安心して医療を受けられる体制が整っている。
26 高齢者や障害がある方などが、住み慣れた地域でニーズに合った介護・福祉サービスを受けることができる。
27 全ての子どもが生まれ育った環境にかかわらず、健やかに育まれる支援体制が整っている。

5	4	3	2	1	N
[自由記述]「不十分」又は「やや不十分」に○をつけた方は、よろしければその理由や、県がもっと力を入れて取り組むべきだと思うことについて、具体的にお聞かせください。					
5	4	3	2	1	N
[自由記述]					
5	4	3	2	1	N
[自由記述]					
5	4	3	2	1	N
[自由記述]					
5	4	3	2	1	N
[自由記述]					

健康づくりや医療・福祉の充実に関する取組の状況

1 健康寿命日本一への挑戦

- ・市町村や経済団体、保健医療団体、報道機関等、多様な主体と連携した健康づくり県民運動を推進
- ・テレビ・ラジオCM、新聞紙面やウェブサイト等を活用した普及啓発等を通じて、県民一人ひとりの健康意識を高揚



めざせ健康寿命日本一!

◎健康寿命

男性 71.21 年、女性 74.53 年 (H28)

2 心の健康づくりと自殺予防対策

- ・民・学・官の連携による自殺予防街頭キャンペーン等の普及啓発や、様々な悩みを抱える方の相談支援体制を整備
- ・自殺原因の約4割を占める健康問題に関する悩みを抱える方に対する医療従事者や相談機関の相談員の対応力を向上
- ・市町村や民間団体等の活動支援を通じた地域レベルのきめ細かな取組の充実や、関係機関と連携した自殺未遂者の支援体制を強化

◎自殺による人口 10 万人当たり死亡率

23.8 (H28) ⇒24.4 (H29)

3 医療ニーズに対応した医療提供体制の整備

- ・高齢化の進展により医療ニーズが高まっている脳・循環器疾患に係る医療提供体制の拠点となる県立循環器・脳脊髄センター（旧 脳血管研究センター）が、H31 年3月に新棟での診療を開始

◎脳血管疾患による人口 10 万人当たり年齢調整死亡率

37.9 (H28) ⇒37.7 (H29)

◎がんによる人口 10 万人当たり 75 歳未満年齢調整死亡率

87.4 (H28) ⇒83.8 (H29)



県立循環器・脳脊髄センター

4 高齢者や障害者等が安全・安心に暮らせる福祉の充実

- ・職員の処遇改善や育成等に積極的な事業所を県が認証する「介護サービス事業所認証評価制度」の普及を推進
- ・障害者差別解消推進条例の制定を契機として、共生社会の実現に向けた取組を強化

◎介護施設等の介護職員数

20,891 人 (H28) ⇒21,228 人 (H29)

5 次代を担う子どもの育成

- ・里親制度の普及・啓発、里親の育成、里親支援体制の整備、里親支援コーディネーターの配置等により、社会的養護が必要な子どもの里親委託を推進
- ・学習支援や家計改善支援など、子どもの貧困対策を強化



里親制度地域セミナー

◎里親委託児童数

16 人 (H28) ⇒25 人 (H30)

項目

あなたの満足度 (1つ選び番号に○をしてください)					
十分	お お む ね 十分	ふ つ う	や や 不 十分	不 十分	わ か ら ない

28 学校教育を通じて、ふるさと秋田を愛し支える心が育まれている。
29 学校教育を通じて、意欲的に学ぼうとする態度や、自ら考え、判断し、表現する力が育まれている。
30 学校教育を通じて、外国文化を理解しようとする態度や、英語でコミュニケーションをとる能力が育まれている。
31 学校教育を通じて、他人への思いやりなどの豊かな人間性と健やかな体が育まれている。
32 学校・家庭・地域が連携し、社会全体で子どもたちの成長を支えていく体制が整備されている。
33 県内の大学等で、地域の活性化につながる教育・研究・社会貢献活動が行われている。
34 県民の多様な生涯学習の機会や芸術文化に触れる機会が提供されている。

5	4	3	2	1	N
[自由記述]「不十分」又は「やや不十分」に○をつけた方は、よろしければその理由や、県がもっと力を入れて取り組むべきだと思うことについて、具体的にお聞かせください。					
5	4	3	2	1	N
[自由記述]					
5	4	3	2	1	N
[自由記述]					
5	4	3	2	1	N
[自由記述]					
5	4	3	2	1	N
[自由記述]					
5	4	3	2	1	N
[自由記述]					
5	4	3	2	1	N
[自由記述]					

教育・人づくりに関する取組の状況

1 自らの未来を主体的に切り拓き、

秋田を支える気概に満ちた人材の育成

- ・ 起業体験やボランティア活動など、地域の活性化に貢献する体験活動や地域の伝統を受け継ぐ活動を推進
- ・ 県立高校等に就職支援員を配置し、生徒の就職相談や県内企業の求人開拓、企業情報の提供等を実施

◎高校生の県内就職率

65.0% (H28) ⇒65.0% (H30)

2 子ども一人一人に応じた教育の充実と確かな学力の定着

- ・ 各学校において学習状況調査等の結果を分析し課題の改善につなげていく「検証改善サイクル」を実施
- ・ 小・中学校全学年で実施している少人数学級を高等学校にも順次拡大し、きめ細かな特色ある教育を推進

◎授業で自分の考えを発表する機会がよくあると思う

児童生徒の割合(小4～中2)

91.0% (H28) ⇒91.1% (H30)

3 世界で活躍できる

グローバル人材の育成

- ・ 英語コミュニケーション能力の育成に向け外国語指導助手や外部検定試験を活用
- ・ 高校生の海外研修や県内の外国人留学生との交流により異文化理解を推進



イングリッシュキャンプ

◎英検3級以上相当の英語力を有する

中学3年生の割合

37.1% (H28) ⇒48.3% (H30)

4 豊かな人間性と健やかな体の育成

- ・ スクールカウンセラー等の専門家の配置により教育相談体制を充実
- ・ 体育授業にスポーツの専門人材を派遣し、児童生徒の実態に応じた質の高い授業を展開



地域人材を活用した体育授業

◎自分にはよいところがあると思っている児童生徒の割合(小6・中3)

83.0% (H29) ⇒89.1% (H30)

◎運動やスポーツをすることが「好き」な児童生徒の割合(小5・中2)

65.6% (H29) ⇒66.0% (H30)

5 子どもの成長を支える

魅力的で良質な学びの場づくり

- ・ 学校と地域の協働活動を推進する人材育成や、地域と連携した安全教育活動を実施
- ・ 能代地区専門系統合校の整備に着手したほか、老朽化した一部の県立学校校舎を改築

◎授業の内容がよく分かると思う児童生徒の割合(小6・中3)

83.8% (H29) ⇒85.8% (H30)

6 地域社会と産業の活性化に資する

高等教育機関の振興

- ・ 各大学等の多様な資源を活用し、地域社会や産業の課題解決に向けた取組を推進
- ・ 高校教育と大学教育の連携など学生の確保に向けた多様な取組を推進

◎県内高等教育機関による県内企業等との共同研究・受託研究数

89 件 (H28) ⇒85 件 (H29)

◎県内高卒者の県内大学・短大への進学率

28.4% (H29) ⇒27.9% (H30)

7 地域を元気にする住民参加の学び

の場と芸術・文化に親しむ機会の提供

- ・ 県生涯学習センターや公民館、学校などで様々なテーマの生涯学習講座を開催
- ・ H30 年 12 月「男鹿のナマハゲ」を含む「来訪神：仮面・仮装の神々」がユネスコ無形文化遺産に登録

◎芸術・文化施設をセカンドスクール的に

利用した小・中学生の割合

26.6% (H28) ⇒24.3% (H30)

問2 県の重要課題について、お伺いします。

問1で満足度をお伺いした項目に関して、今後の県政を推進していく上で、あなたが重要課題として県に力を入れて欲しいことは何ですか。5つまで選択して番号を記入してください。

--	--	--	--	--

◆若者の定着や地域の活力維持

- 1 若者に魅力的な働く場の確保
- 2 高校生や大学生の県内就職の促進
- 3 県内への移住の促進
- 4 結婚、出産、子育てのしやすい環境の整備
- 5 女性の活躍推進と仕事と家庭の両立支援
- 6 安心して生活できる地域コミュニティの維持

◆産業の振興

- 7 企業の成長分野への参入促進
- 8 地域経済をけん引する企業の創出・育成
- 9 中小企業の安定的経営の確保と競争力強化
- 10 企業の東アジア市場等への進出の促進
- 11 企業が必要とする専門人材の確保
- 12 誰もが働きやすい職場環境の整備
- 13 I o T、A I 技術等の産業への導入の促進

◆農林水産業の振興

- 14 農林水産業の担い手の確保
- 15 野菜や果樹、畜産物等の生産の拡大
- 16 産地間競争に打ち勝つ米づくりと販売の強化
- 17 水田の大区画化や汎用化の促進
- 18 農林水産物の加工・販売の促進
- 19 秋田スギや木製品の生産・加工・販売の促進
- 20 水産資源の維持・増大による水産業の振興
- 21 農山漁村地域の活力向上

◆観光・文化・スポーツの振興

- 22 国内外からの観光誘客の強化
- 23 新商品の開発や販路拡大による食品産業の振興
- 24 秋田ならではの文化の振興と発信
- 25 スポーツの振興による地域の活力向上

- 26 道路ネットワークの整備と道の駅の魅力向上

- 27 鉄道や航空・地域交通などの整備

◆健康づくりや医療・福祉の充実

- 28 健康寿命の延伸に向けた取組の推進
- 29 自殺予防対策の推進
- 30 医療提供体制の整備
- 31 介護・福祉サービスの充実
- 32 貧困や虐待等、複雑な事情を抱える子どもへの支援

◆教育・人づくり

- 33 ふるさと教育やキャリア教育の充実
- 34 学力向上に向けた取組の充実
- 35 英語教育と国際教育の充実
- 36 豊かな人間性を育む教育の充実
- 37 健やかな体を育む教育の充実
- 38 教員の指導力向上
- 39 学校施設の整備
- 40 大学等の地域貢献活動の強化
- 41 生涯学習機会の充実と学習効果の社会への還元
- 42 文化遺産等の保存・活用の促進

◆安心・安全な生活環境の確保

- 43 治山治水対策の充実
- 44 地域防災活動の充実
- 45 温暖化防止活動や自然環境保全対策の推進
- 46 犯罪や交通事故の少ない地域づくり
- 47 食品や水道などの安全・安心の確保
- 48 動物愛護活動の推進
- 49 快適で安らげる生活基盤の整備
- 50 I C Tによる便利な暮らしの実現と地域の活性化

問3 県の特定課題について、お伺いします。

県の広報活動について

① あなたは、県の施策・事業等を何から知ることが多いですか（○はいくつでも）。

- | | |
|---|--------------------------------------|
| 1 | 県が発行する広報紙（全戸配布広報紙・新聞広告等） |
| 2 | 県のウェブサイト（「美の国あきたネット」等） |
| 3 | 県政広報番組（テレビ、ラジオ） |
| 4 | 新聞記事やテレビ、ラジオ等のニュース番組 |
| 5 | ソーシャルメディア（ブログ、ツイッター、フェイスブック、動画サイト 等） |
| 6 | その他（ ） |

② あなたは、広報紙やウェブサイト、テレビ、ラジオ等による広報活動は十分に行われていると思いますか（○は1つ）。

- | | | | |
|---|------------|---|------------|
| 1 | 十分行われている | 2 | ある程度行われている |
| 3 | あまり行われていない | 4 | 行われていない |
| 5 | どちらともいえない | | |

家庭での防災活動について

① あなたの家庭では、災害時の備えとして、水・食料等の備蓄（※）（家族人数×3日分）をしていますか（○は1つ）。

※備蓄には、普段から家庭で使うために購入・保管している冷蔵庫内の食料品等や、災害時にも活用できるペットボトル飲料水やカップラーメン、缶詰なども含みます。

- | | |
|---|-------------------|
| 1 | 3日分以上の備蓄をしている |
| 2 | 備蓄はしているが、2日分以下である |
| 3 | 備蓄はしていない |

② あなたは、災害に備えて日頃どのような防災活動を行っていますか（○はいくつでも）。

- | | | | |
|---|-------------------|---|-----------------------|
| 1 | 地域の防災訓練への参加 | 2 | 災害ハザードマップなどによる危険箇所の把握 |
| 3 | 最寄りの緊急避難場所等の確認 | 4 | 緊急避難場所等への避難経路の確認 |
| 5 | 災害時の家族への連絡方法の取り決め | 6 | 非常時持ち出し品の用意 |
| 7 | 家具等の固定 | | |
| 8 | その他（ ） | | |

読書活動について

① あなたは読書（※）が好きですか（○は1つ）。

※読書には、新聞（日刊紙の電子購読版を含む。）、雑誌、電子書籍、子どもへの読み聞かせ、オーディオブック（注）も含まれます。

（注）オーディオブックとは、書籍を朗読したものを録音したCDやカセット等のことです。

- | | |
|------------------|---------------|
| 1 好きだ | 2 どちらかといえば好きだ |
| 3 どちらかといえば好きではない | 4 好きではない |

② あなたは1日平均（※）どれくらい読書をしていますか（○は1つ）。

※子どもへの読み聞かせ時間も含まれます。

※休日まとめ読みの場合は、1日平均に置き換えてください。

- | | | |
|---------|----------|-----------|
| 1 2時間以上 | 2 1～2時間 | 3 30分～1時間 |
| 4 30分未満 | 5 全く読まない | |

男女共同参画について

① 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはこれについてどう思いますか（○は1つ）。

- | | | |
|------|--------------|--------------|
| 1 賛成 | 2 どちらかといえば賛成 | 3 どちらかといえば反対 |
| 4 反対 | 5 わからない | |

社会活動・地域活動について

① あなたが、ここ1年間に仕事以外の何らかの「社会活動・地域活動」（※）に取り組んだ頻度で、もっとも当てはまるものはどれですか（○は1つ）。

※「社会活動・地域活動」の具体例

地域の公園の花壇の手入れ、町内一斉清掃への参加、河川のごみ拾い、子育て支援、子ども会活動、まちづくりフェスティバル、祭り・伝統芸能の担い手、高齢者宅の除雪の手伝い 等

- | | | |
|--------------|-------------------|---------|
| 1 週5日以上 | 2 週1日程度 | 3 月1日程度 |
| 4 年1日程度 | 5 特定の期間（夏の間2週間など） | |
| 6 その他（具体的に | | ） |
| 7 取り組んだことがない | | |

地域社会の住みやすさについて

① あなたは、現在お住まいの地域の住みやすさについて、どう思われますか（○は1つ）。

- | | | |
|---------|-----------|-----------|
| 1 住みやすい | 2 やや住みやすい | 3 やや住みにくい |
| 4 住みにくい | 5 どちらでもない | |

子育て環境づくりについて

- ① 県では、少子化対策として、子育て家庭に対して保育料や医療費の助成など様々な経済的支援を行っていますが、あなたは、これについてどう思いますか（○は1つ）。

- | | | |
|---------|----------|---------|
| 1 十分 | 2 おおむね十分 | 3 ふつう |
| 4 やや不十分 | 5 不十分 | 6 わからない |

高齢者の社会参加について

- ① 60歳以上の方（※）にお聞きします。あなたは、平成30年度に仕事や社会活動等（趣味や健康づくり、生涯学習を含む。）を行いましたか（どちらかに○）。

※60歳未満の方は次の質問に進んでください。

- | | |
|-------|----------|
| 1 行った | 2 行っていない |
|-------|----------|

がん対策について

- ① あなたは、日本人の2人に1人はがんになることを知っていますか（どちらかに○）。

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

- ② あなたは、がんを早期に発見するためにはがん検診をどのように受ければよいと思いますか（○は1つ）。

- | | | |
|-----------|-----------------|---------|
| 1 定期的に受ける | 2 体調に心配がある時に受ける | 3 わからない |
|-----------|-----------------|---------|

環境保全活動について

- ① あなたは、これまでどのような環境保全活動に参加したことがありますか（○はいくつでも）。

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1 講演会やセミナー | 2 クリーンアップなどの美化・清掃活動 |
| 3 自然観察会や自然学習会 | 4 地域での集団回収などのリサイクル活動 |
| 5 大気や水質、水生生物の調査 | 6 植樹・間伐・下刈りなどの森林保全活動 |
| 7 その他（ | ） |
| 8 参加したことがない | |

地球温暖化対策について

- ① あなたは、「地球温暖化対策」と「経済の発展・生活の利便性向上」のどちらを優先させるべきだと思いますか（○は1つ）。

- | | |
|---|---------|
| 1 地球温暖化対策を優先させるべき | |
| 2 経済の発展・生活の利便性向上に一定の配慮をしつつ、地球温暖化対策に取り組むべき | |
| 3 経済の発展・生活の利便性向上を優先させるべき | 4 わからない |

- ② あなたが、地球温暖化防止に関して取り組んでいる（予定を含む。）ことは何ですか（○はいくつでも）。

- | | |
|-----------------------------------|------------------------|
| 1 冷暖房の温度設定の調節（室温：夏 28℃以上、冬 20℃以下） | |
| 2 冷蔵庫の温度設定を季節に合わせて変更 | 3 エコドライブ（アイドリングストップなど） |
| 4 自転車や公共交通機関の利用 | 5 省エネ型の家電・給湯器、LED照明を使用 |
| 6 住宅の断熱リフォーム | |
| 7 その他（ | ） |
| 8 取り組んでいない | |

海岸漂着ごみ対策について

- ① 秋田県の海岸には毎年のようにごみが漂着し、海岸を汚すなどの問題が発生していますが、あなたは、このことを知っていますか（○は1つ）。

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

- ② この問題に対処するため、県などでは海岸や河川での清掃、発生抑制に関するイベントや広報を実施していますが、十分に行われていると思いますか（○は1つ）。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 十分行われている | 2 ある程度行われている |
| 3 あまり行われていない | 4 行われていない |
| 5 わからない | |

循環型社会の形成について

- ① あなたは、ごみを減らすため、どのような活動に取り組んでいますか（○はいくつでも）。

- | |
|--|
| 1 マイバックの利用、簡易包装商品の選択、料理の食べきりなど発生抑制（リデュース）の取組 |
| 2 リユースショップやフリマアプリの活用、古着のリメイクなど再利用（リユース）の取組 |
| 3 ビン・缶・紙の分別徹底、食品トレイ・牛乳パックの回収など再生利用（リサイクル）の取組 |
| 4 取り組んでいない |

問 4 「自由記述」 県に力を入れて欲しいことや、県が取り組むべきだと思うことについて、何でもお気軽にお聞かせください。



©2015 秋田県んだッチ

問5 あなたご自身について、お伺いします。

回答を統計的に分析するために、あなたご自身のことについてお聞かせください。
(最も近いと感じる選択肢の番号1つに○をつけてください。)

① あなたの性別

1 男性 2 女性 3 その他

② あなたの年齢

1 18～19 歳 2 20～29 歳 3 30～39 歳 4 40～49 歳
5 50～59 歳 6 60～69 歳 7 70 歳以上

③ 18歳未満の子どもの有無

1 現在18歳未満の子どもを養育している 2 していない

④ あなたのご出身

1 秋田県出身 2 秋田県以外の出身

⑤ あなたのお住まいの地域

- 1 鹿角地域（鹿角市、小坂町）
- 2 北秋田地域（大館市、北秋田市、上小阿仁村）
- 3 山本地域（能代市、藤里町、三種町、八峰町）
- 4 秋田地域（秋田市、男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村）
- 5 由利地域（由利本荘市、にかほ市）
- 6 仙北地域（大仙市、仙北市、美郷町）
- 7 平鹿地域（横手市）
- 8 雄勝地域（湯沢市、羽後町、東成瀬村）

⑥ あなたの主なお仕事の業種

1 農業 2 林業 3 漁業 4 建設業 5 製造業 6 情報通信業

7 運輸業・郵便業 8 卸売業・小売業(観光関連) 9 卸売業・小売業(観光関連以外)

10 宿泊業 11 飲食サービス業 12 学術研究・学校教育・学習支援

13 医療・保健 14 福祉 15 公務（1～14以外） 16 その他の業種

17 学生 18 無職

これで調査は終わりです。ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。
この調査票を三つ折りにし、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、**6月7日(金)まで**に投函してください。